

令和2年度教員採用試験（二次）選考方針

1 選考の基本的な考え方

- (1) 二次試験では、人物評価重視の観点から、個人面接がC以上の者の中から選考する。
- (2) 併せて、二次試験における各評価（模擬授業（養護除く）、実技試験（注）及び英語面接の評価。）がC以上の者の中から、各試験内容の評価を総合的に判断して選考する。
なお、選考に当たっては、第一次試験の評価、適性検査の結果及び志願書の記載事項を考慮する。
- (3) 個人面接、模擬授業（養護除く）、実技試験（注）、適性検査のいずれかを欠席した者は不可とする。
- (注) 実技試験を実施した試験区分及び教科
小学校、中学校（理科、技術、家庭）、高等学校（物理、化学、生物、家庭、工業、農業）、養護

2 選考方法

（1）小学校

二次試験における個人面接、模擬授業及び実技総合評価がC以上の者を、①個人面接→②模擬授業及び実技総合評価の順に選考する。

小学校実技（器械運動、ボール運動、水泳実技、音楽実技、英会話実技：評価A・B・C・D）については、各実技の評価を4点（A）、3点（B）、2点（C）、1点（D）と点数化し、その合計点を小学校実技の点数とする。ただし、理由を問わず、辞退した実技の評価は1点とする。小学校実技合計点数の20～17点をA、16～13点をB、12～9点をC、8点以下をDと評価する。

小学校の実技試験は、身体を伴う試験のため、障がいのある人を対象とした特別選考の受験者のうち、身体に障がいのある受験者については、各実技の評価でC（2点）以上が2つ以上ある場合は、実技合計点数にかかわらず、総合評価C以上に達しているとみなす。

ここまで選考で同評価の場合は、さらに、第一次試験の評価を選考基準に加え、適性検査の結果及び志願書の記載事項を総合的に判断して選考する。

※模擬授業と実技の評価については同格とし、併せて選考する。

（受験者X：模擬授業B・実技C＝受験者Y：模擬授業C・実技B）

（2）中学校・高等学校

（ア） 英語

二次試験における個人面接、英語面接及び模擬授業の評価がC以上の者を、①個人面接→②英語面接→③模擬授業の順に選考する。

ここまで選考で同評価の場合は、さらに、第一次試験の評価を選考基準に加え、適性検査の結果及び志願書の記載事項を総合的に判断して選考する。

(イ) 二次試験で実技試験を実施しない教科

(中学校：国語、社会、数学、音楽、美術、保健体育)

(高等学校：国語、歴史、地理、公民、数学、保健体育、美術、商業、情報)

二次試験における個人面接、模擬授業の評価がC以上の者を、①個人面接→②模擬授業の順に選考する。

ここまで選考で同評価の場合は、さらに、第一次試験の評価を選考基準に加え、適性検査の結果及び志願書の記載事項を総合的に判断して選考する。

(ウ) 二次試験で実技試験を実施した教科

(中学校：理科、技術、家庭)

(高等学校：物理、化学、生物、家庭、農業、工業)

二次試験における個人面接、模擬授業及び実技試験の評価がC以上の者を、①個人面接→②模擬授業及び実技の順に選考する。

模擬授業及び実技試験の評定については、以下のとおり点数化する。

A：4点、B：3点、C：2点、D：1点

ここまで選考で同評価の場合は、さらに、第一次試験の評価を選考基準に加え、適性検査の結果及び志願書の記載事項を総合的に判断して選考する。

※模擬授業と実技の評価については同格とし、併せて選考する。

(受験者X：模擬授業B・実技C=受験者Y：模擬授業C・実技B)

(3) 特別支援学校

二次試験における個人面接、模擬授業の評価がC以上の者を、①個人面接→②模擬授業の順に選考する。ここまで選考で同評価の場合は、さらに、第一次試験の評価を選考基準に加え、適性検査の結果及び志願書の記載事項を総合的に判断して選考する。

(4) 養護教員

二次試験における個人面接、実技試験の評価がC以上の者を、①個人面接→②実技の順に選考する。

ここまで選考で同評価の場合は、さらに、第一次試験の評価を選考基準に加え、適性検査の結果及び志願書の記載事項を総合的に判断して選考する。

(5) 栄養教員

「(2) 中学校・高等学校」「(イ) 二次試験で実技試験を実施しない教科」と同じ。